

# 一般質問

## 市政の未来を問う

この定例会では、12月2日から4日までの3日間で、17名が登壇し、43項目にわたり、市政全般についてたまた一般質問が行われました。

一人二項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順）

- 野村 武文 議員
  - ※1 マイナンバー共通番号の危険性について
  - ※2 地方創生の市政への影響について
  - ※3 刈谷城築城の計画中止について
  - ※4 美恵子 議員
  - ※5 マイナンバー制度について
  - ※6 健康施策について
- 白土 美恵子 議員
  - ※1 野良ねこ対策について
  - ※2 野良ねこ対策について
  - ※3 野良ねこ対策について
  - ※4 野良ねこ対策について
- 新井 健治 議員
  - ※1 TFP大筋合意における市の影響について
  - ※2 健康施策について
  - ※3 健康施策について
  - ※4 健康施策について
- 鈴木 妙美 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 渡邊 雅春 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 佐藤 充泰 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 外山 敏一 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 清水 俊安 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 山本 健治 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 鈴木 妙美 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 上田 昌哉 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 星野 昌哉 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 須藤 雅春 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 藤原 充泰 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 加藤 幸弘 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について
- 伊藤 幸弘 議員
  - ※1 防災対策について
  - ※2 防災対策について
  - ※3 防災対策について
  - ※4 防災対策について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。 「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

野村 武文 議員

### 刈谷城築城計画は白紙。市民の暮らしの応援と福祉の充実を

#### 刈谷への誇りと愛着を育むシンボルの施設として復元は必要

刈谷城や歴史博物館の建設に莫大なお金を掛けるのではなく、市民の暮らしや福祉に金をつぎ込むべき。刈谷城の築城を白紙撤回する考えは。

刈谷への誇りと愛着を育んでもらうシンボルの施設として、刈谷城復元は必要と考えている。

刈谷城復元の一つに、待機児童問題の解消があげられる。保育園の定員拡充の考えは。

既存施設の有効活用と民間保育園の新設に対する支援を

白土 美恵子 議員

### 脊柱側弯症を早期発見する取り組みを

#### 健康診断時に、イラスト入りチェック表を活用する

脊柱側弯症とは、背骨がねじれを伴って左右に極端に曲がる病気であり、主に学童期後半から思春期に発症する。この病気を早期発見、早期治療を重要とするが、小中学校の健康診断で検査は行われているのか。

毎年、すべての児童生徒を対象に、学校医が検査している。検査方法としては、目視あるいは触診により、両肩の高さの差、左右の脇筋の曲がり方の差などをチェックしている。

27年度の健康診断で脊柱側弯症の有効な設置と運用のために条例制定を

新井 健治 議員

### 防犯カメラの適正な設置と運用のために条例制定を

#### 規定に準じた運用に努め、今後は国の動向を注視したい

防犯カメラの適正な設置や利用について、設置者が遵守すべき義務はなにか。

防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインに沿って、設置・運用要領を設け責任の所在を明確にするほか、画像データの利用や提供の制限をす



設置とともに適正な管理を

（主な答弁者：都市整備部長）

撮影をされた個人のプライバシーの保護を図っている。

条例制定に取り組みが必要があると思うがどうか。

映像は個人情報に該当するため、個人情報の保護に関する法律における利用目的の特定や、利用の制限などの規定に準じた運用を図っている。今後は

鈴木 浩一 議員

### 第3次刈谷市地震対策アクションプランの減災目標達成に向け

#### 確実な消防水利の確保に努めていく

刈谷消防署管内にどのような消防車両があつて、職員は何人いるのか。

刈谷消防署管内には、消防自動車7台、はしご車などの特殊消防自動車4台あり、職員数は94名である。

特殊車両4台以外は水利が無いと消火ができない。過去地震最大モデルの地震が発生した場合の消火栓の被害想定は。

地震発生直後では95%、1週間後では52%が利用できないと想定されている。

愛知県の水道管の基幹管路の耐震化が50%以上でも消火栓は使えない状況だが消防水利の現在の設置状況は。

渡邊 妙美 議員

### 保育士確保のために潜在保育士の復職支援を

#### 対象年齢の拡大や研修会を実施し、保育士確保に努めている

潜在保育士が資格を活かして保育現場で活躍できる取り組みはあるか。

平成21年度から対象年齢を45歳まで拡大し、今年度は保育園や幼稚園の経験者枠を設けて潜在保育士の方が応募しやすくなっている。さらに、再就職に向けて研修会を実施し、保育士の確保に努めている。

上田 昌哉 議員

### 若い世代に命の大切さを教える施策を

#### 保健所と連携して啓発キャンペーンなどを行う

刈谷市の自殺者数は、平成26年は21人であったが、今年は9月末時点で21人と既に昨年を上回るペースとなっている。特に20歳代がもっとも多くなっているが、若い世代に命の大切さを教える施策をどのように考えているのか。

命の大切さを啓発は年齢を問わず大切なことと考えている。市のホームページや広報への啓発記事の掲載や保健所との連携による街頭キャンペーンを行うなどの取り組みを実施していきたい。

星野 雅春 議員

### 二丁目、ひきこもり支援に地域協議会の設置を

#### 地域協議会を含め、他市の状況を調査、研究していく

刈谷市における二丁目、ひきこもりの状況はどうか。

内閣府の調査をもとにした県のデータによると、15歳から39歳のひきこもりは983人、15歳から34歳の二丁目については、市単位ではないが、県全体で33,500人と推計されている。

子ども・若者育成支援推進法における市の役割は何か。

国や県と連携し、子ども等が円滑な社会生活を営めるよう、支援を推進することである。



大事な家族のために 事前に十分な災害対策を

外山 敏一 議員

### 地域防災力強化のため自主防災活動の充実支援を

#### 地区の要望に応じて防災リーダーを養成していく

地区の自主防災組織では現状どのような活動が行われているのか。

地域の災害危険箇所の把握や防災訓練の実施。さらに初期消火や避難者の救出救護など災害時に地域の実情に即した活動ができるよう体制整備を行っていただきたい。年間の活動計画等を企画し防災訓練を行っている地区も多数ある。

防災リーダーを一人でも多く育成することが災害に強いまちづくりにつながると思うが、防災リーダー養成の考え方と防災リーダーネットワーク化の状況はどのようなものか。

平成27年度までの防災



防災リーダーの活動が地域を守る

（主な答弁者：危機管理局長）

勤務を取得しやすくし、子育てをしながら仕事が続けやすい職場環境の整備に努めている。

中郡電力刈谷営業所は本市の防災行政無線を貸与しており、連絡体制を確保している。また、東邦ガスとともに総合運動公園を応急復旧の拠点とする協定を締結している。通信についても通信手段の確保や携帯電話の充電サービスなどの住民支援が行われる。

避難所へのペットの同行避難を今後どのように検討していくのか。

犬・猫を想定した受入の基本となるルールを定めている。今後は避難所ごとの実情を考慮しながらペットの受入を進めていく。

清水 俊安 議員

### 江添川の洪水氾濫防止のため小犬排水機場の有効利用を

#### 一県で改修し、運用するよう要望していく

江添川は平成24年の台風時、高潮被害を防ぐため水門を閉鎖したところ河川の水位上昇により内水氾濫が起きた。その後の対策と日常管理はどうか。

平成26年度に県が堤防のかさ上げ工事を実施した。草刈や水深等の管理は県が行い、高潮時の水門操作は県から委託を受けた高浜市が行っている。

水門は、耐震対策箇所に位置づけられているが上流の河川幅より狭く支柱もある。耐震補強に併せて見直してはどうか。

本市の休日保育と同様ほかの園に通う子どもも受け入れ、日曜日も併せて実施していただければ補助の対象となる。

認可を受けた法人の事業努力が市単独補助に値しないとこの理解ができない。補助の検討をするべき。

鈴木 正人 議員

### 夜間に発生した地震災害を想定した対応、対策を

#### 関係機関と情報共有を図り、避難所の電力を確保する

昼間と夜間における地震の被害はどのように違うのか。

鈴木 正人 議員

### 夜間に発生した地震災害を想定した対応、対策を

#### 関係機関との連携はどうか

警察署及び消防署は災害対策本部の一員となる。本部会議の際には関係者職員を集めて情報共有を図っていく。また県との連携では、県の運用する高



一人で悩まず相談を (市HP掲載パンフレット)

（主な答弁者：生涯学習部長）

国の動向を注視していきたい。

犯罪を減らすために考えていることはあるか。

平成30年をめぐり、市内に1,000台の街頭防犯カメラを設置していくほか、地区要望に基づき、防犯灯を設置していく。また、各種防犯対策について警察や関係機関と協力しながら積極的に取り組んでいく。

星野 雅春 議員

### 水道の耐震化で

#### 減災対策の推進を

本市には、消火栓が2,720基、防火水槽は256箇所設置されている。

過去地震最大モデル規模の地震による、火災が発生した場合の課題は。

水道の断水により消火栓が使えないことが想定される。水利を確保するため、重要な主要管路の耐震化に努めていく。

幼稚園や保育園で業務の説明や実際に担任と一緒に保育に入り、実務研修を受けても

今年度は4日間の期間を設け、実務研修の期間を増やした内容とした。

働きやすい職場環境にするための取り組みはあるか。

業務のシステム化などの事務改善や各園に園役員などを